

ナシ高接更新における中間台木の影響

(1) 現地実態調査

橋本 登・阿部 薫・佐久間忠雄*

(福島県果樹試験場・*福島県農業改良課)

The Effect of Inter-stock on Topworked Japanese Pear Trees

Noboru HASHIMOTO, Kaoru ABE and Tadao SAKUMA*

(Fukushima Fruit Tree Experiment Station・*Agricultural Improving
Section of Fukushima prefectural Government Office)

1 は し が き

ナシ栽培のなかで品種更新が現在大きな課題となっている。特に市場価格の低迷著しい八雲、晩三吉、早生赤、早生二十世紀が更新の対象になっていたが、最近は主力品種である長十郎も更新が実施されている。更に二十世紀では生理障害(ユズ肌果)発生樹に対して積極的な更新が行われている。このように高接更新された樹が中間台木との関係で樹性、果実品質にどのような変化をしめすか明確でない。本調査では樹勢、枝の発生程度、腋花芽の着生、胴枯病の発生状況などについて調査を実施した。

2 調査方法

福島県内の主要ナシ産地において高接更新された園のなかで、すでに5～6年経過し本格的に結実している樹を対象に調査した。調査は現地は場における確認調査および園主からの聞き取り調査を行った。

3 調査結果および考察

(1) 中間台木の特性について

1) 八雲中間台木

新水、幸水を高接すると樹勢が少し弱くなる傾向がみられる。普通苗木から植えられた新水は、枝の伸長が旺盛であり、腋花芽の着生が極めて悪い品種であるが、高接更新された新水は腋花芽の着生もよくなる。また幸水は樹令が古くなると樹勢は一段と弱くなる。

両品種とも果実の成熟は2～3日早くなるが、果実の肥大は若干劣るようである。

2) 二十世紀中間台木

新水、幸水、豊水いずれも樹勢は旺盛であり、枝の発生量も多い。幸水では特に高接されたものが果実の肥大が優れることが確認された。しかし熟期は3～5日程度おくれるようである。

表1

高品種 接名	調査 樹数	中間台 I	中間台 II	枝の発生 程 度			腋花芽の 着生状況			樹 勢			胴枯病	
				小	中	多	小	中	多	弱	中	強	無	有
新水	17	八 雲		15	2		5	5	7	9	4	4	16	1
	11	早生赤			11		10	1			10	1	11	
	7	二十世紀				7	2	3	2		7		7	
	1	長十郎			1		1				1	1	1	
	22	バートレット	二十世紀	22					22		22	22	22	
	1	八 雲	菊 水		1	1				1			1	
	1	バートレット	青 竜		1	1				1			1	
幸水	43	八 雲		13	30		35	4	4	8	20	15	27	16
	30	二十世紀		3	10	17	5	8	17	1	9	20	26	4
	11	新世紀		6	5		2	9		5	3	3	11	
	10	雲 井				10	1	9				10	10	
	4	長十郎		1	1	2	1	1	2	2	1	1	3	1
	3	青 竜				3	2	1		1	1	1	3	
	2	新 水			1	1	2			1		1	2	
	2	バートレット		1	1		1	1			1	1	2	
	2	真 鍬				2		2				2	2	
	1	新 興		1			1			1			1	
	8	二十世紀	菊 水		8		2	6		3	5		8	
八幸	2	八 雲	今村秋			2	2					2	2	
	1	バートレット	青 竜			1	1				1		1	
	1	長十郎			1				1	1			1	
	1	八 雲			1				1		1		1	
	2	長十郎	菊 水	2					2					2
豊水	12	長十郎		4	5	3	4	8	10	2			12	
	3	幸 水		2	1		3				3		3	
	2	二十世紀			2		1	1		1	1	2		
	2	早生赤			1	1	1	1			2	2		
二十世紀	2	八 雲		1		1	1				2		2	
	2	新世紀			2		2				2		2	
	2	長十郎		1	1		1	1			2		1	1
長十郎	9	二十世紀			1	8			9			9	9	
	6	八 雲			1	5			6		6		6	
	1	菊 水			1		1		1		1		1	
	1	久 保		1					1		1		1	
新興	1	二十世紀			1				1	1			1	

3) 長十郎中間台木

新水、幸水の高接によって樹勢が特に弱まることはないが、豊水では弱くなる。枝の発生量、腋花芽の着生は多くなる。また二十世紀を高接すると樹勢は少し弱くなる。

果実の肥大は変らない。

4) 早生赤中間台木

新水、幸水、豊水いずれも二十世紀の中間台木よりも樹勢は旺盛である。高接更新して早い年次では果実の肥大は少し劣る傾向も確認されたが、樹勢が次第におちつくにしたがって肥大はよくなる。熟期は3～5日程度おくれる。早生赤にパートレットを高接し、更に新水を高接更新されたものはパートレットの影響で樹勢は弱くなり、果実の成熟も早くなる。

5) パートレット中間台木

新水、幸水、豊水ともに樹勢は弱くなり、果実の肥大は劣る。熟期は2～3日早くなる。

6) 新水中間台木

最近、新水は枝の発生量が少なく、花芽の着生も悪いため、期待したほど収量が得られないため幸水、豊水に更新される産地もみられる。新水の中間台木は、樹勢は旺盛で果実の肥大はよい。熟期は3～4日おくれる。

表2

高接品種名	調査樹数	中間台Ⅰ	中間台Ⅱ	枝の発生程度			腋花芽の着生状況			樹勢			胴枯病	
				小	中	多	小	中	多	弱	中	強	無	有
新水	19	八雲		15	4		5	7	7	9	10		18	1
	10	二十世紀			3	7	2	3	5		8	2	10	
	6	長十郎		5	1			4	2	2	4		6	
	20	早生赤			18	2	18	1	1		14	6	20	
	13	早生赤	パート	2	11		2	7	4	3	8	2	13	
幸水	48	八雲		13	32	3	5	19	24	30	18		32	16
	35	二十世紀		3	15	17	5	13	17	1	14	20	34	1
	41	長十郎		5	16	20	3	19	19	9	28	4	39	2
	50	早生赤			50			50				50	50	
豊水	12	二十世紀			10	2		6	6		8	4	12	
	13	長十郎		4	5	4		3	10	11	2		13	
	7	早生赤			1	6		3	4		2	5	7	
二十世紀	69	長十郎		1	24	44			69	23	46		69	

(2) 胴枯病の発生状況

胴枯病の発生は幸水においては八雲との組合せで発生が多くみられた。長十郎、二十世紀でも若干確認された。新水においては八雲中間台木で発生が認められた。早生赤の中間台木においては全く発生が認められなかった。

4 む す び

今後の調査として幸水に多く発生する胴枯病を中間台木の利用によって防除できないかを検討し、更に各種中間台木と幸水の果実品質の影響について調査を実施する。